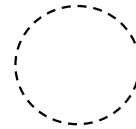


児童手当・特例給付の受給資格に係る申立書  
(児童の海外留学)



横浜市長

年 月 日

請求者(申立人)

住 所 \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 昭和・平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生

電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

私は、児童手当法(昭和46年法律第73号)第3条項の規定に基づき留学により国外に居住している児童を監護し、かつ、生計を同じくしていることについて、当該事実を証明する書類を添えて、次のとおり申し立てます。

記載内容が事実と異なっていた場合は、児童手当・特例給付の認定の取消し及び支給済みの手当の返還等に応じます。

留学している児童の状況	フリガナ		性別	男・女	生年月日	平成 年 月 日
	氏 名					
	留学期間(予定) ※準備期間含む	平成・令和 年 月 日から平成・令和 年 月 日 (日本国内に住所を有しなくなった日) (再び日本国内に住所を有する予定日)				
	留学している教育機関等の名称					
	留学の目的					
	留学先の国名・居住地					
	留学先で児童と同居している者(児童との続柄)	・ _____ (続柄: _____) ・ _____ (続柄: _____) ・ _____ (続柄: _____)				

留学前の国内居住状況	①	平成・令和 年 月 日 から平成・令和 年 月 日(直近)
	住所:	_____
	②	平成・令和 年 月 日 から平成・令和 年 月 日
住所:	_____	
③	平成・令和 年 月 日 から平成・令和 年 月 日	
住所:	_____	

※ 「留学期間(予定)」は、「留学するために日本に住所を有しなくなった日」から「留学を終了し再び日本国内に住所を有する予定日」を記入してください。(支給は、日本国内に住所を有しなくなった日から3年以内の児童に限ります)

※ 「児童と同居している者の氏名(続柄)」は、留学先の住居において、児童と同居している全ての者について記入してください。なお、児童がその父、又は母(あるいは未成年後見人)と同居している場合は、支給要件児童にはなりません。

※ 「留学前の国内居住状況」は、留学する前日から遡って過去3年間を超える期間について、住民票上の住所を記入してください。ただし、留学する前日までに引き続き3年を超えて国内に住所を有しなかった場合は、過去6年間の海外居住期間も含む居住状況(日本国内の居住状況については住民票上の住所)を記入してください。

(裏面に続く)

※横浜市使用欄 福祉コード _____	入力者	確認者

[児童手当・特例給付の受給資格に係る申立書（児童の海外留学） 裏面]

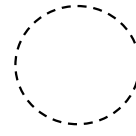
父母等の状況	フリガナ	続柄	生年月日			住所
	氏名		年	月	日	
			平成・昭和			
			平成・昭和			
	監護の状況 (面会の頻度など)					
	生計関係の状況 (生活費の送金状況等)					

※ 「父母等の状況」は、児童の父母について記入するほか、児童に未成年後見人がいる場合は、当該未成年後見人についても記入してください。

添付書類	下記の書類全てが必要です(添付したものに「✓」をつけてください。)
	<p><input type="checkbox"/> 留学の事実がわかる書類（留学先の在学証明書等） ※児童の氏名、留学先の教育機関等の名称及び留学期間が記載された証明書類を添付してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 留学前の国内居住状況がわかる書類（戸籍の附票の写し、国内の学校における在学証明書等） ※日本国内に住所を有しなくなった日の前日までの過去6年間において、本市に引き続き住所を有していた場合は不要です。</p> <p><input type="checkbox"/> 留学先の在学証明書等の翻訳書（外国語で記載されている場合） ※日本国内に居住する第三者（親族以外）の方が作成した翻訳書を併せて添付してください。 (当該翻訳書に翻訳者の署名、押印及び連絡先を必ず記入してください。)</p>

【記入例】

児童手当・特例給付の受給資格に係る申立書  
(児童の海外留学)



横浜市長

令和 3年 5月 6日

請求者(申立人)

住所 中区 本町6-50-10

フリガナ ヨコハマ イチロウ  
氏名 横浜 太郎

生年月日 昭和・平成 58年 12月 10日 日生

電話番号 090 - 1234 - 〇△□×

私は、児童手当法(昭和46年法律第73号)第3条項の規定に基づき留学により国外に居住している児童を監護し、かつ、生計を同じくしていることについて、当該事実を証明する書類を添えて、次のとおり申し立てます。

記載内容が事実と異なっていた場合は、児童手当・特例給付の認定の取消し及び支給済みの手当の返還等に応じます。

留学している児童の状況	フリガナ	ヨコハマ イチロウ	性別	男	生年月日	平成20年10月10日
	氏名	横浜 一郎				
	留学期間(予定) ※準備期間含む	平成・令和 3年 5月 7日 から 平成・令和 4年 3月 31日 (日本国内に住所を有しなくなった日) (再び日本国内に住所を有する予定日)				
	留学している教育機関等の名称	〇〇ハイスクール				
	留学の目的	語学習得のため				
	留学先の国名・居住地	アメリカ				
	留学先で児童と同居している者(児童との続柄)	横浜 四郎 (続柄: 叔父) _____ (続柄: ) _____ (続柄: )				
留学前の国内居住状況	① 平成・令和 20年 10月 10日 から 平成・令和 3年 5月 6日(直近) 住所: 横浜市中区本町6-50-10 ② 平成・令和 年 月 日から 平成・令和 年 月 日 住所: ③ 平成・令和 年 月 日から 平成・令和 年 月 日 住所:					

- ※ 「留学期間(予定)」は、「留学するために日本に住所を有しなくなった日」から「留学を終了し再び日本国内に住所を有する予定日」を記入してください。(支給は、日本国内に住所を有しなくなった日から3年以内の児童に限ります)
- ※ 「児童と同居している者の氏名(続柄)」は、留学先の住居において、児童と同居している全ての者について記入してください。なお、児童がその父、又は母(あるいは未成年後見人)と同居している場合は、支給要件児童にはなりません。
- ※ 「留学前の国内居住状況」は、留学する前日から遡って過去3年間を超える期間について、住民票上の住所を記入してください。ただし、留学する前日までに引き続き3年を超えて国内に住所を有しなかった場合は、過去6年間の海外居住期間も含む居住状況(日本国内の居住状況については住民票上の住所)を記入してください。

(裏面に続く)

※横浜市使用欄 福祉コード_____	入力者	確認者

父母等の状況	フリガナ	続柄	生年月日	住所
	氏名			
	ヨコハマ タロウ	父	昭利 平成 58年 12月 10日	横浜市中区本町6-50-10
	横浜 太郎			
ヨコハマ ハナコ	母	昭利 平成 62年 12月 12日	横浜市中区本町6-50-10	
横浜 花子				
監護の状況 (面会の頻度など)	1年に2回、夏休みと冬休みを利用して、一時帰国又は赴き面会予定			
生計関係の状況 (生活費の送金状況等)	学費とは別に毎月6万円を叔父に送金し生活費に充ててもらっている			

※ 「父母等の状況」は、児童の父母について記入するほか、児童に未成年後見人がいる場合は、当該未成年後見人についても記入してください。

添付書類	下記の書類全てが必要です(添付したものに「✓」をつけてください。)
	<input checked="" type="checkbox"/> 留学の事実がわかる書類（留学先の在学証明書等） ※児童の氏名、留学先の教育機関等の名称及び留学期間が記載された証明書類を添付してください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 留学前の国内居住状況がわかる書類（戸籍の附票の写し、国内の学校における在学証明書等） ※日本国内に住所を有しなくなった日の前日までの過去6年間において、本市に引き続き住所を有していた場合は不要です。
	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先の在学証明書等の翻訳書（外国語で記載されている場合） ※日本国内に居住する第三者（親族以外）の方が作成した翻訳書を併せて添付してください。 （当該翻訳書に翻訳者の署名、押印及び連絡先を必ず記入してください。）